

ポルシェカレラカップ 2018 富士大会 参加報告書

Date 2018年5月3日～4日

Round 第3戦・第4戦

Race Track 富士スピードウェイ

はじめに、今大会も懸命なサポートをして頂いたポルシェジャパン株式会社様、コックス株式会社様、チームの皆様、パーソナルスポンサーの皆様にご心より感謝致します。

●2018年5月3日 公式予選（第3戦6位・第4戦3位）

ポルシェカレラカップジャパン第3戦・第4戦は富士スピードウェイで開催されました。

前日の専有走行では2回ともトップタイムをマークする事ができ、自信を持ってレースに臨む事ができました。公式予選での路面コンディションはレインからドライに変わろうとしている非常に難しいコンディションでの予選となりました。

霧の影響で30分の予選スタートはディレイとなり、残り10分というところで予選が再開となりました。レインタイヤを装着しコースインしましたが、路面コンディションはドライタイヤが有利なコンディションとなっていました。アウトインでドライタイヤに変更する事も考えましたが、2ラップ以上タイムを残す必要があるという点と、もしセッション途中で赤旗などが提示されるリスクを考えると確実にタイムを残す作戦にしました。

結果、ドライタイヤに履き替えたドライバーが上位で予選を終える結果となり、第3戦は6番手スタート。第4戦は3番手スタートからとなりました。

●第3戦決勝レース（6番手スタート／13位フィニッシュ）

決勝レースでは完全なドライコンディションでのレースとなりました。

6番手からのスタートとなり、レース序盤では3番手までポジションを上げる事ができました。

ペースは悪くなく、3番手から2番手にポジションアップを試みましたが13コーナーでオーバーテイクする際にスピンしてしまい大きく順位を落としてしまいました。

反省点としては、レース後半まで我慢が必要だったと思います。

レースの組み立て方の部分では課題が残りますが、これも経験だと前向きにとらえ今後のレースに活かしていきたいと思います。



●第4戦決勝レース（3番手スタート／優勝）

第4戦のスターティンググリッドは3番手からのスタートとなりました。

第3戦決勝レース同様にドライコンディションとなり、気持ちを切り替えて今日のレースに臨みました。シグナルブラックアウトからの反応は良く、スタートで3番手からトップまで一気にポジションを上げる事に成功しました。その後は自分自身のドライビングに集中し周回を重ねていきました。後方につけるドライバーのラップペースも良かったので気が抜けないレースとなりましたが、なんとか逃げ切る事ができ第4戦優勝する事ができました。

また、決勝レース中のファステストラップも獲得する事ができ非常に嬉しく思います。



第3戦では速さを上手く活かす事が出来ず残念な結果となりましたが第4戦では優勝する事ができ良かったです。各大会をこなすごとに自分自身の成長を感じる事ができるのも、私をサポートして頂ける沢山の方々のお陰だと思っています。

次戦は5月19日・20日に鈴鹿サーキットで開催されます。いいパフォーマンスができるように既に準備を行っています。

今大会も応援有難うございました。

#18 上村優太

